



第160号

(昭和50年 2月・3月号)

目次

学 長 告 辞 1

関 係 法 令 1

学 内 規 則 2

富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則の制定..... 2

富山大学文理学部規則の一部改正..... 2

富山大学薬学部規則の一部改正..... 5

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正..... 5

富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正..... 6

人 事 異 動 7

諸 会 議 8

学 内 諸 報 8

教育学部長の改選..... 8

学生部長の再選..... 9

学内レクリエーション..... 9

学位取得者..... 9

職 員 消 息..... 9

主 要 日 誌..... 10

昭和49年度卒業式学長告辞

昭和49年度学部卒業生、専攻科及び大学院研究科修了生並びに短期大学部卒業生諸君に、心からお祝いを申し上げます。

諸君は、螢雪の功なり、高い教養と、高度の学問技術を修得され、いよいよ明日より、変動苛烈な実社会に出て活躍されるのでありますが、その前途洋々として光輝あることを祈念して止みません。

いまや我が国は、経済社会の急激な変化のため、かつてない大きな困難に直面しています。資源、エネルギー、食糧に乏しい日本は、一日もはやく、これが根本的解決

のため、産業構造の転換を図り、民族の永生を計ることはもちろんのこと、世界全人類の平和と繁栄のため努力しなければなりません。

古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「万物はみな発生、成長、死滅のプロセスをもつ」と述べていますが、自然界の輪廻、自然の法則にそむいた高度成長のひずみが、環境破壊、公害、資源の不足を招いたことは否定できません。

エネルギーの浪費だけでなく、人間性まで燃焼し続けてきた日本が、あらゆる資源の有限性に直面した今日、あらためて日本人の世界観、人生観を見直し、その確立を急がねばならない時がきていると存じます。諸君の責任はまことに重大であります。

朝夕、豪壮雄大な立山を仰ぎながら大学生活を送ってきた諸君は、巖として大地に聳え立つ雄峰のごとく、いかなる逆境、いかなる困難や環境の変化にも動じない不動心をもって、毅然として進んでいただきたいものです。

経済社会における困難の増大は、いまこそ人間性回復の絶好の機会であると考え、国民あげて奮起すべきときと存じます。

願わくば、日頃健康に注意され、安定した21世紀をめざし、国際的視野にたったの研究、努力と精進をされることをお願いして告辞といたします。

昭和50年 3月20日

富山大学長 林 勝次

関 係 法 令

(官報掲
載月日)

法 律

○国家公務員の寒冷地手当に関する法律の一部を改正する法律(3) 3・20

○一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律(9) 3・31

規 則

○管理職員の範囲の一部を改正する規則(人事院17-0) 2・26

○災害を受けた職員の福祉施設の一部を改正する規則(同16-3) 3・1

○補償及び福祉施設の実施の一部を改正する規則(同16-4) 3・1

○採用試験の一部を改正する規則(同8-18)3・4
告 示
 ○大学の設置認可申請書その他の書類の様式

及び提出部数を定める等の件の一部を改正
 する件(文部14) 2・14

学 内 規 則

富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則の制定

富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則を次のとおり制定する。

昭和50年3月14日

富山大学長 林 勝次

富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則

第1条 富山県に置かれる国立医学教育機関創設準備室に任用する教員の停年は、富山大学教員の停年に関する規則第1条、第2条及び附則第3項の規定にかかわらず、この規則の定めるところによる。

第2条 前条に規定する教員には、富山大学教員の停年に関する規則は適用しない。

附 則

- 1 この規則は、昭和50年3月14日から施行する。
- 2 この規則は、富山県に置かれる国立医学教育機関創設準備室廃止の日に、その効力を失う。

富山大学文理学部規則の一部改正

富山大学文理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和50年3月14日

富山大学長 林 勝次

富山大学文理学部規則(昭和26年9月7日制定)の一部を次のように改正する。

第4条文学科の項中「国文学、」の次に「中国文学、」を加える。

別表(1)文学科の表の哲学専攻課程の項の関連科目欄中「言語学概論2単位」の次に「比較文学2単位」を加える。

別表(1)文学科の表の史学専攻課程の項の専攻科目欄中「○必修科目42単位」を「○必修科目40単位」に、「考古学および民族学2単位」を「考古学または民族学2単位」に改め、「美術史2単位」を削り、「計48学位」を「計46単位」に改め、同項の関連科目欄中「経済史2単位」の次に「美術史2単位」を加え、同項の自由選択科目欄中「8単位」を「10単位」に改める。

別表(1)文学科の表の国文学専攻課程の項を次のように改める。

	専 攻 科 目	関 連 科 目	自由選択科目
国 文 学	○必修科目 34単位	○必修科目 8単位	10単位
	国語学概論 2単位	中国思想史 2単位	卒業論文 10単位
	国文学史 8 "	中国文学史 2 "	
	国語学特殊講義 4 "	中国文学講読 2 "	
	国文学特殊講義 8 "	中国語講読 2 "	
	国語学演習 I 3 "	○選択科目 12単位	
	国文学演習 I 3 "	次の科目のうちから12単位を選択する	
	国語学講読 3 "	言語学概論 2単位	
	国文学講読 3 "	比較文学 2 "	
	○選択科目 4単位	中国文学特殊講義 2 "	
	次の(A)または(B)のいずれかについて4単位を選択する。	中国語演習 2 "	
		中国文学演習 2 "	

専攻課程	(A)国語学演習Ⅱ	2単位	国史概説	4 "
	国語史または国語学史	2 "	国史特殊講義	2 "
	国文学法	2 "	国史学演習	2 "
	(B)国文学演習Ⅱ	2単位	東洋史概説	2 "
	国文学概論	2 "	西洋史概説	2 "
	国文学論史	2 "	哲学専攻科目	2 "
			英文学専攻科目	2 "
			ドイツ文学専攻科目	2 "
	計	38単位	計	20単位
合計		78単位		

別表(1)文学科の表の国文学専攻課程の項の次に次の中国文学専攻課程の項を加える。

	専攻科目	関連科目	自由選択科目	
中国文学専攻課程	○必修科目	40単位	○必修科目	10単位
	中国語法	2単位	国語学概論	2単位
	中国語会話	4 "	国語学講読	2 "
	中国語講読	4 "	国文学講読	2 "
	中国語演習	4 "	国文学史	4 "
	中国語学特殊講義	4 "	○選択科目	10単位
	中国文学史	4 "	次の科目のうちから10単位を選択する	
	中国思想史	4 "	言語学概論	2単位
	中国文学講読	4 "	比較文学	2 "
	中国文学演習	4 "	国語・国文学特殊講義	2 "
	中国文学特殊講義	6 "	国語・国文学演習	2 "
			東洋史概説	2 "
			東洋史学演習	2 "
		東洋史特殊講義	2 "	
		哲学専攻科目	2 "	
		英文学専攻科目	2 "	
		ドイツ文学専攻科目	2 "	
	計	40単位	計	20単位
合計		78単位		

別表(1)文学科の表の英文学専攻課程の項の関連科目欄を次のように改める。

○選択科目	8単位
次の科目のうちから選択する	
言語学概論	2単位
比較文学	2 "
哲学専攻科目	4 "

史学専攻科目	4 "
国文学専攻科目	4 "
中国文学専攻科目	4 "
ドイツ文学専攻科目	4 "
フランス語	2 "
計	8単位

別表(1)文学科の表のドイツ文学専攻課程の項の専攻科目欄中「○必修科目38単位」を「○必修科目42単位」に改め、「ドイツ語作文4単位」の次に「ドイツ文法4単位」を加え、「計46単位」を「計50単位」に改め、同項の関連科目欄中「○選択科目14単位」を「○選択科目10単位」に改め、

「イタリア語 2単位
ギリシャ語 2" を削り、
ラテン語 2"」

「次の科目のうちから8単位を選択する」を
「次の科目のうちから4単位を選択する」に、

「西洋史概説
西洋史学史
西洋史特殊講義
西洋哲学史」

「中国文学専攻科目
哲学専攻科目
史学専攻科目
比較文学 2単位」

「計14単位」を「計10単位」に改める。

別表(2)文学専攻科の表の国文学課程の項中

「 | 漢文学特別講義 | | 4 | 」を削り、
「 | 国文学演習 I | | 2 |
| 国文学演習 II | | 2 | を
| 漢文学演習 | | 2 | 」
「 | 国文学演習 | | 2 |
| 国語学講読 | | 2 | に改め、
| 国文学講読 | | 2 | 」

同項の次に次の中国文学課程の項を加える。

文 学 専 攻	中 国 文 学 課 程	中国語学特別講義		4
		中国文学特別講義		4
		中国語学演習		2
		中国文学演習		2
		中国語学講読		2
		中国文学講読		2
		特別研究(論文)	20	

附 則

1 この規則は、昭和50年4月1日から施行する。

2 この規則の施行以前において、すでに専門教育課程に移行している者については、なお従前の例による。

富山大学薬学部規則の一部改正

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和50年3月14日

富山大学長 林 勝次

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則

富山大学薬学部規則（昭和40年1月22日制定）の一部を次のように改正する。

別表中

「	必	○	専門基礎薬学	薬品作用学	2	」の次に
「	必	○	専門基礎薬学	環境衛生分析学	2	」を加え、
「	△	○	応用薬学	電子工学	2	」を
「	○	○	応用薬学	電子工学	2	」に、
「	○	△	応用薬学	病態生化学 (臨床試験法を含む)	2	」を
「	○	△	応用薬学	病態生化学 (臨床試験法を含む)	1	に改める。
「	○	○	応用薬学	臨床化学	1	

附 則

この規則は、昭和50年4月1日から施行する。

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和50年3月14日

富山大学長 林 勝次

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

別表電気工学専攻の項中

「	応用数学特論	2	を
○	電気工学演習	3	
○	電気工学実験	3	
「	○電気工学演習	2	」に、
○	電気工学実験	2	
「	○課題研究第二	12	」を
「	○課題研究第二	10	」に改める。

別表工業化学専攻の項中

「	応用数学特論	2	」を削る。
---	--------	---	-------

別表金属工学専攻の項中

「	応用数学特論	2	」を削る。
---	--------	---	-------

別表機械工学専攻の項中

「	熱原動機関特論	2	を
	応用数学特論第一	2	
	応用数学特論第二	2	

応用数学演習	2	」に改める。
機械工学設計製図	2	
熱原動機関特論第一	2	
熱原動機関特論第二	2	
塑性力学特論	2	」

別表生産機械工学専攻の項中

応用数学特論	2	」を削る。
--------	---	-------

別表化学工学専攻の項中

応用数学特論	2	」を削る。
--------	---	-------

別表電子工学専攻の項中

応用数学特論第一	2	」を削る。
応用数学特論第二	2	

別表各専攻課程共通の項中

応用物理学特論	2	」の次に
応用数学特論第一	2	」を加える。
応用数学特論第二	2	
応用数学演習	2	

附 則

- この規則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 昭和49年度以前の入学生については、なお従前の例による。

富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

昭和50年3月17日

富山大学長 林 勝次

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則

富山大学物品管理事務取扱細則（昭和35年4月22日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「および附属図書館」を「、附属図書館および経営短期大学部」に改め、同条第2項中「各部局長」の次に「（経営短期大学部にあっては主事）」を加える。

第11条を削り、第12条の前に次の2条を加える。

（物品の管理事務の委任）

第11条 学長は、文部省所管物品管理事務取扱規程（昭和32年文部省訓令。以下「訓令」という。）第9条第2項の規定により、物品管理官の事務の一部を別表第3の1に定めるとおり分掌させ、または代理させるものとする。

（物品の出納保管事務の委任）

第11条の2 物品管理官等は、訓令第10条の規定により、その管理する物品の出納および保管に関する事務を別表第3の2に定めるとおり委任し、代理させ、または分掌させるものとする。

第12条第1項を次のように改める。

第12条 物品管理官等は、訓令第11条第1項の規定により、その管理する物品の供用に関する事務を講座または学科目の主任教官もしくは課、係の長またはこれらに準ずるものに委任するものとする。

別表第3を別表第3の2とし、同表の1.物品出納官および代理物品出納官の表中事務局学生部の項の委任する事務の範囲の欄を「事務局および学生部に属する物品の出納保管に関する事務」に改め、附属図書館の項の次に

経営短期 大学部	総務係長	学務係長	経営短期大学部に属する物品の出納および保管に関する事務
-------------	------	------	-----------------------------

を加える。

別表第2の次に次の表を加える。

別表第3の1

分任物品管理官および代理分任物品管理官

部 局	分任物品管理官 とする官職	代理分任物品管 理官とする官職	委 任 す る 事 務 の 範 囲
文 理 学 部 教 育 学 部 経 済 学 部 薬 学 部 工 学 部 教 養 部 和 漢 薬 研 究 所 附 属 図 書 館 経 営 短 期 大 学 部	事 務 長	部 局 長	各 部 局 に 属 す る 国 立 学 校 特 別 会 計 の 物 品 の 管 理 に 関 す る 事 務 (附 属 図 書 館 以 外 の 部 局 に あ っ て は 図 書 を 除 く 。)

附 則

この細則は、昭和50年4月1日から施行する。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	発令前の所属官職	異 動 内 容	発 令 者
採 用	50.2.1	井 川 達 朗		事務補佐員(附属図書館)	富山大学長
	"	畑 田 修 三		技能補佐員(医学教育機関創設 準備室自動車運転手)	"
	50.2.17	樋 口 泰 弘		見習員(薬学部)	富山大学長
昇 任	50.2.1	佐 藤 清 雄	名古屋大学助教授工学部	教授(教養部)	文 部 大 臣
	50.3.1	田 中 久 雄	助教授(教育学部)	教授(教育学部)	文 部 大 臣
	"	泉 野 佐 一	講 師 (")	助教授 (")	"
	"	竹 内 茂 弥	" (")	" (")	"
配 置 換	50.2.1	小 林 武	庶務部人事課人事係長	庶務部人事課任用係長	富山大学長
	"	高 松 正 雄	" " 能率係長	" " 給与係長	"
	"	野 口 隆	" " 人事係給与主任	" " 任用係任用主任	"
転 任	50.3.1	狐 塚 寛	科学警察研究所法科学第 一部化学第二部研究室長	教授(薬学部)	文 部 大 臣
併 任	50.3.31	酒 井 康 彦	教授(教育学部)	教育学部長(併任の期間 52.3.30まで)	文 部 大 臣
辞 職	50.2.1	掛 山 政 規	事務補佐員(附属図書館)		富山大学長
	50.3.31	鈴 木 米 三	助教授(文理学部)		文 部 大 臣
	"	志 波 和 子	教育学部附属幼稚園教頭		"
	"	松 田 伊 治	" 附属小学校教頭		"
	"	養 口 義 隆	" 附属小学校教諭		富山大学長
	"	本 江 進	" 附属中学校教諭		"

	50.3.31	荒木 栞	教育学部附属中学校教諭		富山大学長
	"	但田 修二	文部事務官(附属図書館)		"
	"	網谷 与志男	" (経営短期大学部)		富山大学経営 短期大学部学長
退職	50.3.31	高林 彰	技術補佐員(経理部主計課)	50.3.30限り	富山大学長
	"	田盛 一枝	臨時用務員(教育学部作業員)	"	"
	"	中川 三枝子	事務補佐員(経済学部)	"	"
	"	笠島 曜子	" (工学部)	"	"
	"	牧野 智恵子	" (教養部)	"	"

諸 会 議

第12回評議会 (2月14日)

(報告事項)

- (1) 昭和50年度富山大学大学院薬学研究科, 工学研究科第2次入学試験合格者の判定について
- (2) 昭和50年度富山大学学生募集要項及び富山大学案内の一部変更について
- (3) 富山医科薬科大学医学部の発足, 薬学部の発足(移管)並びに和漢薬研究所の移管について

(審議事項)

- (1) 教官人事について(文理学部, 薬学部)
- (2) 昭和50年度富山大学文学専攻科, 理学専攻科及び経済学専攻科入学試験合格者の判定について
- (3) 卒業式, 入学式について

第13回評議会 (3月14日)

(報告事項)

- (1) 国大協第4常置委員会について
- (2) 昭和49年度富山大学大学院薬学研究科及び工学研究科(修士課程)修了者の認定について
- (3) 学生の懲戒について
- (4) 富山医科薬科大学について

(審議事項)

- (1) 富山大学教員の停年に関する規則の特例に関する規則の制定(案)について
- (2) 教官人事について(国立医学教育機関創設準備室)
- (3) 次期学生部長候補者の選考について
- (4) 富山大学文理学部規則の一部を改正する規則(案)について
- (5) 富山大学薬学部規則の一部を改正する規則(案)について

- (6) 富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則(案)について
- (7) 昭和49年度卒業及び修了者の認定について
- (8) 昭和50年度富山大学教育専攻科入学試験合格者の判定について
- (9) 国費沖縄学生の受け入れについて
- (10) 富山大学保健管理センターの設置について
- (11) 入学試験の実施について

第14回評議会

(審議事項)

- (1) 教官人事について(国立医学教育機関創設準備室)
- (2) 昭和50年度富山大学入学試験合格者の判定について
- (3) 昭和49年度文理学部理学科の卒業認定について
- (4) 学生の懲戒について

学 内 諸 報

教育学部長の改選

深井三郎教育学部長の任期が昭和50年3月30日に満了するため, 教育学部教授会は2月26日次期学部長選挙を実施し, 投票により酒井康彦教授を選出し, 同教授は3月31日付けで就任された。

酒井教授は, 昭和9年3月京都帝国大学文学部哲学科(哲学専攻)を卒業ののち, 昭和18年7月富山師範学校助教授, 同20年5月教授, 同24年6月富山大学助教授(教育学部), 同36年8月教授となり今日に至っている。

この間, 附属小学校長, 附属幼稚園長, 附属図書館長, 学生部長, 評議員を勤められた。

教育史専攻 富山市出身

学生部長の再選

学生部長の任期が50年5月8日で満了することに伴う次期学生部長候補者の選考は、3月14日開催の評議会において、補導協議会から推薦のあった3名の教官の中から投票によって行われ、現職の岩淵富治教授が再選された。任期は、昭和52年5月8日までの2年である。

学内レクリエーション

▶卓球大会

実施月日 2月1日(土)午後1時
場 所 小体育館
入 賞 優勝 工学部Aチーム
次 勝 工学部Bチーム
第3位 文理・教養チーム

▶バドミントン大会

実施月日 2月8日(土)午後0時30分
場 所 体育館
入 賞 優勝 工学部チーム
次 勝 薬学・和漢研チーム
第3位 教育学部チーム

▶麻雀大会

実施月日 2月8日(土)午後1時
場 所 職員ホール
入 賞 優勝 草島 幸雄(庶務部)
次 勝 吉野 義光(施設課)
第3位 高松 平吉(文理学部)

▶将棋大会

実施月日 2月15日(土)午後1時
場 所 職員ホール
入 賞 A級 優勝 高辻大四郎(図書館)
次 勝 坪田 卓(工学部)
第3位 滋野 康雄(図書館)
B級 優勝 前川 清徳(工学部)
次 勝 高田 正道(教養部)

▶囲碁大会

実施月日 3月1日(土)午後1時
場 所 職員ホール
入 賞 A級 優勝 佐伯 信男(施設課)
次 勝 白野 明(短大)
第3位 清水 岑夫(薬学部)
B級 優勝 五十嵐靖夫(和漢研)
次 勝 五百崎喜明(庶務部)
第3位 松下 甚清(和漢研)

▶ボウリング大会

実施月日 3月8日(土)午後1時30分

場 所 とやまゴールデンホール
入 賞 優勝 吉本 徳行(庶務部)
次 勝 藤野 広春(薬学部)
第3位 山田 知訓(教育学部)

学 位 取 得 者

取得者 教育学部 講師 竹内 茂弥
取得学位 工学博士(大阪市立大学)
取得年月日 昭和49年12月24日
学位論文 カルバミン酸エステル・ホルムアルデヒド樹脂に関する研究

取得者 和漢薬研究所 助手 佐野 清教
取得学位 薬学博士(大阪大学)
取得年月日 昭和49年9月19日
学位論文 ノダケ *Angelica decursiva* Fr. et Sav. のクマリン成分 *decursin*, *decursidin* の構造研究

取得者 薬学部 助手中野 琢
取得学位 理学博士(東京大学)
取得年月日 昭和50年3月10日
学位論文 金属錯体の磁気共鳴と電子構造

職 員 消 息

〈改 姓〉

工 学 部
技 能 員 高瀬サチ子 (旧姓 土岐)

〈新 任 者〉

学 生 部
事務補佐員 石川 裕史

文 理 学 部
事務補佐員 西田真知子

薬 学 部
臨時用務員 石田 政行
見 習 員 樋口 泰弘

教 養 部
教 授 佐藤 清雄

附 属 図 書 館
事務補佐員 井川 達朗

〈住 所 変 更〉

事 務 局

文部事務官 蓮覚寺外茂雄

経済学部

助手 泉田 栄一

教養部

助教授 奥貫 晴弘

<住居表示変更>

工学部

助手 村井 忠邦

主 要 日 誌

本 部

- 2月1日 学内卓球大会
- 6～7日 臨時東海北陸地区国立大学事務局長会議
(於 岐阜大学)
- 7日 学園ニュース編集委員会
庶務係長会議
- 8日 学内バドミントン大会
学内麻雀大会
- 12日 国立医学教育機関創設準備委員会
- 12～21日 昭和50年度入学願書受付
- 13日 第8回事務協議会
- 14日 第5回大学院委員会
第12回評議会
- 15日 学内将棋大会
- 21～22日 東海北陸地区国立大学厚生課長会議 (於
名古屋工業大学)
- 22日 R連盟囲碁大会 (於 県民会館)
- 24日 第9回事務協議会
- 25日 入試管理委員会
- 26日 国大協第4常置委員会
- 28日 学園ニュース編集委員会
学生相談所委員会
- 3月1日 学内囲碁大会
- 4日 国立医学教育機関創設準備委員会
- 6日 厚生補導委員会
- 8日 学内ポウリング大会
- 10日 臨時東海北陸地区国立大学庶務部長会議 (於
名古屋工業大学)
国立医学教育機関創設準備委員会

停年・勸しゅう退職者懇談会

- 14日 第6回大学院委員会
第13回評議会
- 17日 富山医科薬科大学施設計画打合せ会
- 19日 昭和49年度富山大学大学院修士学位記授与式
- 20日 昭和49年度富山大学卒業式 (各学部ごと)
第10回事務協議会
- 23～25日 昭和50年度富山大学入学者選抜試験
- 25日 国立医学教育機関創設準備委員会
- 31日 第14回評議会

文 理 学 部

- 2月5日 教授会
人事教授会
真率会総会
- 7日 文学専攻科, 理学専攻科入学者選抜試験
- 12日 教授会
文学科教官会議
- 18日 専攻科入学者選抜試験合格者発表
- 19日 文学科教官会議
- 20日 文学科, 理学科(4年次学生は昭和47年10月専
門課程移行者), 専攻科各後学期授業終了
- 24日 人事教授会
文学科教官会議
文学科紀要委員会
- 3月4日 入学志願者健康診断書審査
- 5日 入学志願者調査書審査
- 6日 理学科4年次学生(48年2月専門課程移行者)
後学期授業終了
- 12日 教授会
文学科教官会議
- 19日 教授会
人事教授会
入学試験打合せ会
- 20日 卒業・修了証書授与 (各専攻ごと)
- 23～24日 入学者選抜試験
- 31日 教授会
卒業証書授与 (理学科各専攻ごと)

教 育 学 部

- 2月3日 学部長選挙公示
- 5日 補導委員会

- 6日 教育実習委員会
附属幼稚園入園志願者抽選
附属小学校入学許可者(第1次)発表
- 7日 附属小学校入学志願者抽選
附属小学校入学許可者(第2次)発表
- 10日 職業補導委員会
- 12日 教務委員会
- 14~21日 教育専攻科入学願書受付
- 15日 教育学部ボウリング大会
- 19日 後学期授業終了
- 20日 教務委員会
- 21日 附属中学校入学志願者抽選
附属中学校入学許可者発表
- 26日 教育学部長候補者選挙
- 27日 教務委員会
- 28日 補導委員会
- 3月1日 教育専攻科入学者選抜試験
- 5日 教務・補導合同委員会
教授会
人事教授会
- 6~12日 スキー実習
- 10日 教育専攻科入学者合格発表
- 13日 教務・補導合同委員会
教授会
人事教授会
- 15日 附属幼稚園卒業式
- 17日 附属幼稚園終業式
附属中学校卒業式
- 18日 附属小学校卒業式
- 20日 教育学部卒業・修了式
附属中学校終業式
- 22日 附属小学校終業式
- 23~25日 入学者選抜試験
- 29日 人事教授会
- 31日 教務・補導合同委員会
教務委員会
教授会

経済学部

- 2月3日 財務委員会
- 5日 第24回教務委員会
- 7日 専攻科入学者選抜試験
- 12日 第17回教授会
- 22日 後学期授業終了

- 26日 第8回人事教授会
- 27日 後学期末試験開始
- 3月1日 入学者選抜健康診断(書類審査)
- 5日 第9回人事教授会
- 8日 後学期末試験終了
- 10日 入学者選抜試験(調査書審査)
- 12日 第25回教務委員会
第18回教授会
- 20日 経済学部卒業式(於 会議室)
- 23~24日 入学者選抜試験(於 富山中部高等学校,
芝園中学校)
- 31日 第26回教務委員会
第19回教授会(入試合格者判定)

薬学部

- 2月4~5日 薬学研究科第2次入学者選抜試験
- 5日 研究科委員会(合格判定)
- 10日 学部図書委員会
人事教授会
- 12日 教務委員会
予算委員会
- 17日 教授会
研究科委員会
- 19日 学部学生授業終了
- 22日 研究科学生授業終了
- 25日 新大薬学研究科々長会議(於 東京)
- 3月5日 教授会
人事教授会
研究科委員会(修了認定)
- 12日 教授会(卒業認定)
人事教授会
- 13日 入試問題組分け
- 20日 学部卒業式
- 23~24日 入学者選抜試験(於 富山高等学校)
- 31日 教授会

工学部

- 2月12日 研究科委員会
専任教授会
- 3月12日 一般教授会
研究科委員会
専任教授会

20日 工学部卒業式
 23～24日 入学者選抜試験(於 高岡工芸高等学校)
 31日 一般教授会
 研究科委員会

教 養 部

2月5日 教務委員会
 教授会
 教授のみの教授会
 12日 教養部改革小委員会
 19日 教授会
 紀要委員会
 3月4日 補導委員会
 5日 教務委員会
 教授のみの教授会
 教授会
 17日 教授のみの教授会

和 漢 薬 研 究 所

2月4日 第9回教授会
 図書委員会
 5日 研究科委員会(於 薬学部)
 7日 研究報告出版委員会
 10日 和漢薬シンポジウム打合せ会
 薬学部, 研究所合同図書委員会(於 薬学部)
 15日 図書委員会
 17日 研究科委員会(於 薬学部)
 18日 和漢薬シンポジウム打合せ会
 25日 和漢薬シンポジウム打合せ会
 3月5日 研究科委員会(於 薬学部)
 11日 人事教授会
 17日 第10回教授会
 22日 研究報告出版委員会
 25日 和漢薬シンポジウム打合せ会

附 属 図 書 館

2月5日 尿の検査
 12日 定期健康診断
 24日 事務打合せ会
 3月14日 事務打合せ会

26日 事務打合せ会

経営短期大学部

2月1日 補講
 3～8日 後学期末試験
 12～21日 入学願書受付
 15日 予餞会(於 学生会館)
 24日 推薦入学者選考(書類審査)
 26日 推薦入学者選考(面接試問)
 27日 教授会(第14回)
 3月1日 入学志願者健康診断書審査
 3日 調査書審査委員会
 4日 入試委員会(校正)
 教授会(第15回)
 6日 編入学生選考(書類審査, 面接試問, 筆記試験)
 7日 編入学採点
 9日 入学者選抜試験
 10～11日 採点
 13日 教授会(第16回)
 20日 卒業式
 24日 教授会(第17回)

編 集 富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190
 印刷所 第一共同印刷株式会社
 富山市太郎丸1220-2
 電話㊟0196(代)